

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館（さよう文化情報センター内）
〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp

Book Review

図書館司書おすすめの一品



『第三の極地 -エヴェレスト、その夢と死と謎』

マーク・シノット／著、古屋 美登里／訳
(亜紀書房) 2023年

本書は、アメリカ人冒険家でジャーナリストである著者が、1924年にエヴェレスト登頂に挑み行方不明となったイギリス人登山家アンドリュー・アーヴィンの2019年の調査隊に参加し、百年来の謎、エヴェレストに初登頂したのは誰かに迫った記録である。

1920年代イギリスの探検は、北極点、南極点への到達競争に敗れ、「第三の極地」となるエヴェレスト登頂に国の榮譽を賭け臨んでいた。「そこに山があるから」の名言で知られる登山家ジョージ・マロリーも選抜され、遠征に参加した一人で、1924年の第3次遠征で、22歳のアーヴィンと頂上アタックに挑み消息を絶った。1999年、マロリーの遺体は発見されるが、アーヴィンの行方は知れず、彼らが携帯していたカメラも見つからなかった。エヴェレスト登頂史では、世界初登頂は、1958年にイギリスが南東稜（ネパール側）から、また、マロリーたちが挑んだ北東稜（チベット側）からは、1960年に中国が達成している。しかし、二人が遭難前に登頂に成功し、その記録がカメラに残っていたら歴史が変わることになる。研究者から遺体の予測場所を聞き、準備を整え現地に向かい、中国山岳会の横槍や悪天候もやり過ごしながらか登頂の機会を狙う。ベースキャンプには様々な理由で頂上を目指す人々が集っている。人生を変えるため、過去から逃れるため、貧しさのため。1924年の遠征隊にもふれながら、そんな人々についても綴られる。

登頂に成功する者、断念する者、命を落とす者。想像を絶する過酷な世界に改めて驚愕するとともにエヴェレストに魅せられ（囚われ）上を目指す人々の人間模様や謎解きにくぎ付けになる。（蔭木）

5月 皐月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 月曜休館日	2 館内整理日	3 祝日休館日	4 祝日休館日	5 こどもの日 おはなし会 10:30~	6 おはなし会 14:00~
7 おはなし会 10:30~ 11:00~	8 月曜休館日	9 祝日の振替 休館日	10	11	12 わらべうたと えほんの会 10:30~	13 おはなし会 14:00~
14 おはなし会 10:30~ 11:00~	15 月曜休館日	16	17	18	19	20 おはなし会 14:00~
21 おはなし会 10:30~ 11:00~	22 月曜休館日	23	24	25	26	27 おはなし会 14:00~
28 おはなし会 10:30~ 11:00~	29 月曜休館日	30	31 館内整理日			

6月 水無月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※館内整理日による休館
5月 2日(火)、5月31日(水)
6月30日(金)

※祝日による休館
5月3日(水)、5月4日(木)
5月9日(火)「こどもの日」振替

■色の日は休館日です。
開館時間／午前10時から午後6時

「予約本の取り置き期間」は、開館日の7日間です。
期間が過ぎると予約を取り消しますのでご注意ください。

『ちいさなヒッポ』

マーシャ=ブラウン/さく
うちだ りさこ/やく
(偕成社) 1984年



生まれてからお母さんのそばを離れたことがないヒッポが、かばの言葉を覚える時がきました。お母さんは、

あいさつのしかたや助けのよび方、かばは、「グアオ」と吠えるのがとても大事だと教えてくれました。ヒッポは、お母さんの教えてくれた言葉をくり返し練習して、覚えてたの言葉で、はじめてであったしまうまや、水牛に話しかけました。ある日、いつものように、大人のかばたちが川の泥の中で眠っている時、ヒッポは遊びたくなくて、ひとりで水面にあがっていききました。すると、大きな金みどりの目をしたわにがすべりよってきて、ヒッポのしっぽにかみつ、水の底へとひきずりこもうとしました。ヒッポの「グッグッ グアオ！ たすけて！」と叫ぶ声を聞いて、お母さんが駆けつけ、大きな口でわにをくわえてほおりなげ、ヒッポを救いだしました。

藍色、黒、黄緑などの落ち着いた色を使って木版画で描かれた絵は、力強く迫力がありません。幼いかばの好奇心旺盛な様子や、お母さんかばの愛情や逞しさが伝わってきます。

(尾崎)

『小さなスプーンおばさん』

アルフ=プリーヨイセン/作
大塚 勇三/訳
(学研教育出版) 1966年



ある朝、おばさんが目を覚ますとティースプーンくらいに小さくなっていました。おばさんは、「小さくともうまいくようにやらなきゃならないわね。」と、まずは、ネズミ

や猫、犬を上手く使って掃除を済ませました。次に、雨や風にもんくをいって怒らせて着物を洗わせ、風が吹いて着物を干し物網に引っ掛けるまでアナグマの穴に潜り込みました。そして、太陽が怒ってかんかんと照りつけ乾かしている間、台所の流しの水に浮かんだコーヒー皿にのっかっています。そのうえ、畑から帰ってくるご亭主のパンケーキを焼くため、材料をこねてつぼに入れていたおばさんは、「こんなすてきなつぼはありっこない」「あれほどいいフライパンはありやしない」とつぼやフライパンをなだめすかしてパンケーキを焼かせてしまいます。やがて、ご亭主が帰ってきてドアを開けたとたん、おばさんはいつもの大きさに戻りました。

他にも、おばさんがカラスの女王になる話や、コケモモの実をクマに運ばせる話などが収められています。急に小さくとも少しも慌てず困難をきりぬけていく、へこたれないおばさんが愉快です。(シリーズ 1 巻目) (水鳥)

●あそばせ隊 おはなし会
毎週土曜日/14:00~14:30
幼児・小学生対象

●図書館 おはなし会 毎週日曜日

○小さい人(5歳以上)/10:30~11:00
5月のおはなし「おいしいおかゆ」

○大きい人(小学3年生以上)/11:00~11:30
5月のおはなし「小さなオンドリとダイヤのボタン」

★ 静かにおはなしを聞きましょう ★

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要

おはなし会



information

ミッションに挑戦して、全ビンゴをめざそう!

●よむよむビンゴ! 開催中

期間 5月30日(火)まで
内容 ①ビンゴカードに書かれたテーマに関する本を図書館で借りる
②読み終えるとビンゴカードのマスにスタンプを押す
③スタンプを集めて「たて」「よこ」「ななめ」のどこかに列ができればビンゴ!!
特典 ビンゴごとに2冊多く借りられる

